



学年目標 「 勇往邁進 ～ 志高く、粘り強く ～ 」

* 「勇往邁進」…自分の夢や目標に向かって、困難に負けず、ひたすら前進すること。



限られた時間を有効に使い、学力、そして自分の土台をつくろう！

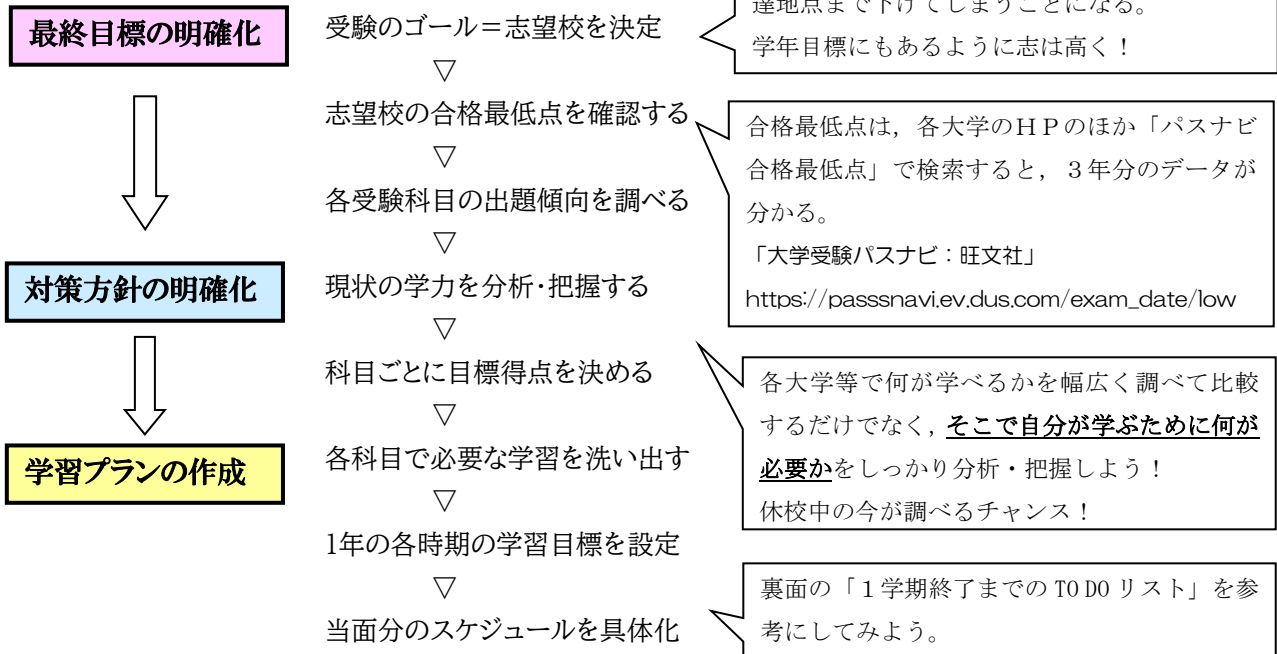
来年の4月に納得のいく場所に立っているかどうか。それを決めるカギとなるのが目標設定です。最終目標を設定し、本番から逆算して「いつ、何を、どこまで」を具体的に決め、スモールステップを大切に成功体験を積み上げていくことが学力の向上だけでなく自信につながり、これからの人生において、困難を乗り越える糧になります。

本気で受験勉強を始め、その成果が点数となって現れるまで、最低3か月はかかると言われています。(努力が実るまでにかかる時間は人によって違います。成果が出るまで粘れるかが勝負です。)現在の休校中は部活動もないため、1日10時間学習をしている人と5時間で終わってしまっている人との差は、例年よりも早く出てくる可能性が高く、さらに広がっていくと考えられます。学年集会でも伝えたように、「質」を高めるためには、まずは「量」が必要です。1日1日を大切にしてください。

学年主任 松井 利恵

目標設定の手順

『螢雪時代4月号』(旺文社)より抜粋



4月記述模試の復習 ～「模試の解答冊子は最高の教材！」(山田先生談)～

今回郵送した『解答解説』の表紙に「合格に必要な力を知る」とあります。受験後すぐの今回の復習の目的が、まさにこれ！また、「自分の現時点での学力とのギャップを知る」上でも非常に有効です。入試レベルの学力は一度の復習で身につくものではありません。時間の経過とともに記憶は薄れるので、さらなる復習が必ず必要です。また、学習が進んでから復習することで、新しい発見があったり、他の問題と関連づけて理解したりすることができ、真の実力へとつながっていきます。

受験勉強の第1段階は学力の土台＝基礎力の養成

得点を伸ばすために今すべきことは何か。それは、学力の土台づくりです。基礎力養成は「**インプット→アウトプット**」の**1セットで行うのが原則**です。知識は覚えればよいと単純に考えがちですが、使えるものとして定着させるためには、丸暗記ではなく、まず考え、理解することが大切です。そのうえで頭にインプット。最後に問題を解き、知識を頭からアウトプットする。この学習法を休校中に本格的に始め、8月中には、基礎固めを終えることを目指しましょう。

1学期終了までの TO DO リスト

『螢雪時代4月号』（旺文社）より抜粋

英語

- 英単語の見出し語を暗記
- 基本的な文法事項の習得
- 一文一文を正確に読む訓練
- 復習時に英文の音読

数学

- 公式・定理をまとめる
- 基本→標準問題を解く
- 問題の解き方を自分に説明
- 計算ミスの原因を記録
- スキマ時間で計算練習

国語

- 志望校の問題を1題解く
- 漢字の問題集をさらう
- 現代文の長文読解演習
- 古文単語暗記1回目（年間3回）
- 古文の助動詞と敬語をさらう
- 漢文の句形と用語をさらう

物理

- 力学の基本問題を解く
- 徐々にレベルアップする
- 苦手な問題は解き直し
- できれば熱や波動に広げる

化学／化学基礎

- 暗記カードの作成と内容更新
- 資料集を活用しつつ問題演習
- 授業ノートの整理・補充
- 筆算スピード上達訓練
- 理系→易問も図解して解く

生物／生物基礎

- 遺伝子分野の学習を最優先
- 教科書の全範囲を読み込む
- 基礎～標準の演習書を学習
- 理系→定義問題の記述練習
- 文系→書き込み式の演習

地学基礎

- 用語を正確に理解
- 教科書で現象や図表を理解
- カードやノートを作成
- 自然災害の情報収集

現代社会

- 各単元の大枠を押さえる
- 基本用語を正確に理解する
- 制度や仕組みを理解する

日本史

- 通史のサブノートを作成
- 歴史用語は正確に書く
- 基本年代は確実に暗記
- 史料は意識し出典を暗記
- 地名が出たら地図で確認
- 図版は説明文をチェック

世界史

- 教科書レベルで全時代をさらう
- 政治史中心に文化史も取り組む
- 重要用語は「用語集」で理解
- 一問一答でアウトプット
- 図説などでイメージ化

地理

- 大地形とプレートを理解
- 大気大循環と気候を理解
- 自然と農業の関係を把握
- 工業の立地条件を把握
- 共通テスト型の問題で確認

※教科のことだけでなく、みんなの力も知っているのが教科担任の先生。まずは取り組みを開始し、自分自身の課題を具体的に把握した上で、積極的に質問を！

休校中に何をやったかが問われる！

今は、教科学力を高めることはもちろん、授業や部活動がある中ではなかなか落ち着いてできないことに集中して取り組めるチャンスです。「進路ノート」をつくって、大学や職業について調べるだけでなく、**自分の志望分野に関する新聞記事や新書を読んで、問題点、原因・背景、解決策をまとめるなど、自宅でできる活動を充実させましょう。**今年度は、ふれあい看護体験が中止になりました。今後もオープンキャンパスや大学の公開授業等が中止になるおそれがあります。**自分でできる活動をどれくらい充実させたか**——これが今年度の大きなポイントになるかもしれません。